

# 住友化学 i - 農力だより

<http://www.i-nouryoku.com/index.html>

第101号 平成25年5月31日  
 発行 住友化学(株) アグロ事業部  
 お客様相談室 0570-058-669  
 編集者 太田有香  
 発行責任者 南圭三郎

## 目次

※ 今号より目次に概要を記載することといたしました。

農家さん訪問記 (85) 【愛媛県・みかん】・・・	p. 1
住友化学アグログループ紹介 日本エコアグロ(株)・・・	p. 6
食の安全性について考える (34) 【22: 除草剤の作用】	p. 7
今月のお奨め農薬【ダントツ水溶剤・アグロスリン 水和剤・アディオン乳剤・ロディー乳剤】・・・	p. 9
お役立ちプチ情報【害虫の姿その2: 稲の害虫】	p. 10
農薬登録情報・・・	p. 11
ひまわり農園奮闘記②・・・	p. 13
編集後記	p. 14



ヒレンジャク (レジャク科) とハナミズキ (ミズキ科)  
 富樫 信樹 画

## 農家さん訪問記(85)

### 三つの太陽でおいしい真穴のみかん

今回の農家さん訪問は、愛媛県八幡浜市真穴（まあな）からです。ここからは佐田岬半島が一望できます。長く突き出た半島で海は豊後水道と瀬戸内海に分れています。真穴は豊後水道側にあり、雨が少ない瀬戸内気候と違って年間降雨量は1800mmあります。因みに佐田岬半島から高知県境までを南予と云って、旧宇和島藩領（伊達藩）



松浦喜孝さん

でした。そのためか、中予（松山市など）や東予（今治など）とは異なった気質や文化が根付いています。

また、ここには三つの太陽があるといわれています。一つは燦々と降り注ぐ太陽、二つ目は白い石垣に反射する太陽、三つ目は海に反射した太陽です。この三つの恵みをいっぱいを受けて、ここ西宇和は日本でも有数のみかんの産地です。その中でも真穴地区（みかん面積280ha/186戸）はおいしいみかんとして定評があります。この地で100年前から柑橘栽培を営む松浦家の四代目・喜孝（よしたか）さん（44歳）にお話を伺いました。

（取材日：2013年4月15日）

## 子供たちも農作業を積極的に手伝います

ご家族は、ご両親、奥さん、子供さん4人(2男2女)の大所帯です。みかん園の作業は松浦さんご夫妻とお父様の3人ですが、忙しい収穫時期だけパートさん(10人)に来てもらいます。この春に長男は高校生となり、次男を含め子供たちは農作業をよく手伝ってくれます。2~3年前までは一家揃って、家族旅行を楽しんでいましたが、部活などで子供たちが忙しくなり行けなくなりました。因みに、喜孝さんの趣味は海が近いこともあり魚釣りです。この時期は鰯がよく釣れます。釣った魚の料理は奥様にお任せで、もっぱら釣るだけです。でも、新鮮な魚を食べ慣れていますので、関東方面に旅行をしても美味しいと思う魚はマグロぐらいで、他の魚はこちらの方が美味いそうです。好きなスポーツはバレーボールで、時々ですが部活の子供たちに指導しているそうです。



真穴共撰場の横は絶好の海釣り場

## 松浦家の柑橘品種と栽培面積

西宇和地域は早生温州みかんの産地です。ここ真穴も殆どの農家は早生温州みかんを栽培しています。そのため収穫期の10月10日から40日間はこの農家も早朝(6時頃)から深夜(22時頃)まで働き詰めとなります。松浦家では、それを避けるために、色々な品種を植えて収穫作業の分散化をしています。

松浦家で植えている柑橘の品種と収穫時期・栽培面積は次の通りです。

10月上旬に収穫の極早生「日南1号」(20a)、11月「早生温州」(140a)、11月下旬「南柑20号」(90a)、年末から年明け「紅まどんな」(5a)、2月「はるか」(10a)、「甘平」(5a)、そして、一番遅い3月収穫「タロッコ」(50a)と続きます。このように収穫時期の異なる品種を植えることで、栽培面積を3.2haに拡大することが出来ました。

多品種にした理由は他にもあります。それは昭和40年代にみかんが大暴落したことです。それに懲りて、危険分散として色々な品種を植えるようになりました。今回、取材のキッカケにもなったタロッコはお父さん(有毅さん、73歳)が青果連の職員時代に、当時の生産部長から奨められて栽培したものです。若いときからお父さんは色々な品種を接木して、地元の気候に適しているか、食味が良いかなどを試していました。その流れは喜孝さんも受け継いで、新しい品種を導入しています。



甘くて美味しいブラッドオレンジ・タロッコ種

ブラッドオレンジ・タロッコ種が脚光を集めたのは以下のような経緯からです。ブラッドオレンジは日本の高級イタリア料理店でデザートとして出していました。しかし、地中海ミバエが発生している国



からは輸入がストップし、料理店でも手に入らず困っていましたが、しかし、ここ真穴で栽培していることが分かり、東京からシェフがわざわざ視察に訪れ、それが評判になり人気が出ました。ブラッドオレンジは名前の通り熟すると果肉が紅くなり、大変美味しくなります。その紅い色はアントシアニンという成分で、抗酸化作用があり眼に大変良いそうです。本種は3月に収穫して自宅の冷蔵庫で赤い色が出るまで寝かします。そのため他の柑橘と出荷がダブらないことも値段的にメリットがあります。温州みかんがキロ200~300円なのに比べて、タロッコはキロ600円にもなります。しかし、潰瘍病とカミキリムシに弱いという欠点があります。また、3月の収穫期はタロッコだけしか園に残っていないため、鳥の格好の餌食になります。そのため、園全体に防鳥網を掛けるのは家族総出で作業します。

## 真穴のみかん山はスプリンクラー設置

長年、真穴地区は隣の川上地区と品質を競っています。それが証拠に、二つの地区は殆ど廃園がありません。他の地域では高齢化やみかんの安値で、離農する農家が増え廃園が目立つのと対照的です。真穴では45歳以下の若い跡継ぎが40名以上います。いかにも活気がある産地です。喜孝さんも後継者のリーダーをされていて、若い人たちと協力して産地を盛り上げています。喜孝さん自身は中堅と思っていますが、他の産地を訪ねると「若い」と言われ少し戸惑うそうです。

その真穴にはみかん作りの好条件がいくつか揃っています。①痩せた土地のため木にストレスがかかり、みかんが美味しくなります。②海があることで、木が枯れる-5℃を下回ることはありません。③美味しいみかんの産地は不思議と西斜面に多いそうです。そして、自慢の三つの太陽があることです。

この地域のみかん園はスプリンクラーが行き届いています。これで散水や農薬散布を行います。スプリンクラーを設置したのは20年ほど前のことです。雨量の多い地域なのですが、昭和43年は日照り続きで大旱魃となり、大変な被害を受けました。そのため国の補助金を利用して、みかん園にスプリンクラーを整備しました。スプリンクラーで農薬を散布する場合は真穴地区を12ブロックに分けて、各ブロック役員が薬剤の調合をして散布します。そして、スプリンクラーの保守点検は個々の園主がします。

摘果後の水の灌水量は気を使います。早ばつになるとみかんはストレスのため小さくなりますが、味は美味しくなります。どれぐらい雨が降るとどれぐらいの大きさになるのかは、データの集積で予想が出来ますので、果実肥大の状況と品質を見ながらスプリンクラーで散水を行います。水のやり過ぎは味に悪影響を及ぼしますので、ストレスがかかるぐらいに水は控えます。



## 柑橘の年間作業と病害虫防除

みかん園の一年間の農作業と病害虫防除について、お話しを伺いました。

30年以上も経つとみかんの木は収穫量が減ってきます。そのため1~2月は改植の準備作業です。剪定作業は2~4月です。3月は更新用の苗木を植えます。4月下旬は全樹の施肥です。5月連休には隔年結果防止として開花時に摘蕾作業をします。そして、この時期は訪花害虫が飛来し、また、灰色かび病や黒点病の予防時期です。そのためにスプリンクラーで農薬を散布します。ただし、木の内部、葉裏や枝についているヤノネカイガラムシには薬液が十分掛からないので手散布をします。



タロッコの潰瘍病対策にボルドー散布



みかんを運ぶモノラック

因みに、チャノキイロアザミウマ、ハナアザミウマなどはスピノエースフロアブル、キラップフロアブル、アドマイヤーフロアブルなどを散布します。また、ゴマダラカミキリムシなどはダントツ水溶剤がよく効きます。また、ヤノネカイガラムシは春にマシン油乳剤を散布します。病害は黒点病中心にジマンダイセンやエムダイファーなどを散布します。7月になると摘果作業が始まり、作業は収穫前まで行います。園内をこまめに回り3回ほど摘果します。除草は年間通じて行い、摘果に手が回らない時はパートの人に入ってもらいます。灰色かび病防除は、花が満開期と落弁期の二回散布します。殺虫殺菌剤の混用散布はタイミングが合えばしますが、一週間も適期がずれると単用で散布します。

## 真穴の伝統芸能「座敷雛」

真穴の伝統芸能は座敷雛です。(詳しくはこちら→ <http://www.i-rekihaku.jp/gakublo/nanyo/19>)

長女が生まれると、玄関など人目につくところに雛を飾ります。その飾りつけは近所の人が協力して、一週間ほど掛けて豪勢に飾りつけます。この座敷雛は長女が生まれた年だけの展示で、一生に一度のことです。座敷雛が有名になったのはメディアが取り上げた十数年前からです。いまでは二日間で2万人もの来場者があります。今年は6軒で女の子が生まれたことから、例年にも増して大変な賑わいでした。真穴は海岸線に沿った狭い道なので観光バスが何台もくると、地域の方々は交通整理に大わらわです。座敷雛が有名になったことで、真穴のブラッドオレンジ(タロッコ)には「雛の里ブランド」と箱に印刷して、知名度アップに活用しています。

インタビュー後に、山の斜面のみかん園も見学させていただきました。そこからは複雑に入り組んだ海岸線が一望出来、養殖いかだ(鯛・鮎)や港が見えます。一昔前はトロール船の基地でした。漁船は豊後水道を真っ直ぐ南下して太平洋沖まで出て漁をして戻ってきます。そのたびに



魚の水揚げで港は賑わったのでしょう。他に、名物といえばじゃこ天（地魚などのすり身を形にして油で揚げたもの）です。帰りの「道の駅」で揚げたてのじゃこ天を食べたところ美味しく思わず「旨い！」と声が出ました。また、八幡浜市ではB級グルメとして「八幡浜ちゃんぽん」を広げようとしています。

## 子供達がやってみたい農業を目指す

最後に、喜孝さんに将来の夢をお聞きしたところ、

- 子供が繋いでいける柑橘農家を目指す。
- 守りの姿勢では縮小していくしかないので、攻めの姿勢でやっていく。
- 少しでも新しい品種や栽培方法を取り入れていく。

と話してくださいました。

子供さんたちは喜孝さんの夢を受け継ぎ、立派な後継者に育ててくれること請け合いです。また、古きよき伝統の「座敷雛」や、三つの太陽がある素晴らしい真穴を地域の人たちと共にしっかり守ってけると信じます。

取材に際して、「JAにしうわ真穴事業所」様には大変お世話になりました。お礼申し上げます。  
(鈴木、古津)



JAにしうわ真穴事業所営農指導員 渡邊健太さんとお二人で

[目次へ戻る](#)

住化アグログループご紹介

日本エコアグロ株式会社

## 日本エコアグロの新しい拠点

## “エコアグロ大田市場事務所” を立ち上げました！

弊社のような農産物を扱っている業界では「大田」或いは「大田市場」といえば話が通じますが、正式には「東京都中央卸売市場大田市場」といい JR 秋葉原駅前にあった神田市場と五反田にあった荏原市場を統合する形で平成元年に業務を開始しました。

現在こちらでは、東京青果、荏原青果、東京神田青果の3社が荷受会社として稼働しており、羽田空港にほど近い約40ヘクタールの広大な敷地では24時間眠ることなく全国から農産物が入荷します。平成24年度の取扱実績は3社を合わせると約2,400億円となり、青果物に関しては国内最大の卸売市場です。



前置きが長くなりましたが、弊社は今年の4月に新しい拠点として「大田市場事務所」を大田市場内に立ち上げました。拠点化の目的を簡単に説明しますと、①『調達』（弊社の販売先が必要とする農産物の仕入）、②『販売』（弊社がお世話になっている産地の作物の販売機能の強化）、③『物流』（産地から販売先までの物流ハブとしての活用）、④『加工』（販売先のニーズに合わせた分化やパッキング施設の確保）、⑤『情報』（市況、各産地や輸入品に関する情報の入手）となります。

今後は、この新しい拠点を活用し生産者や販売先の皆様のお役に立てるよう、さらにパワーアップして参りたいと考えます。ご最厚いただきますよう、どうか宜しくお願いいたします。

## &lt;そして、この新しい拠点で活動を開始した3名の新しい顔ぶれを今回ご紹介いたします！&gt;



田中一成 (H24.9 入社)

大田市場を知り尽くした男。果樹系を中心に産地とも太いパイプがあり大田事務所では「ボス」的な存在。仕事には厳しいが、娘の前では世界一優しいパパ。野球とゴルフはかなりの腕前。



足立正止 (H25.1 入社)

前職では茨城県や千葉県を中心に活動、特に薬物にはメッポウ強い。大田事務所では番頭役として活躍中。ヘアースタylistとして活躍していた時期もあり。



池田壮亮 (H25.4 入社)

弊社が初めて採用した新卒ルーキー（秋田県出身）。現在はOJTで大田配属だが今後は、販売先や産地での研修が彼を待っている。

( 記事に関するお問い合わせ：日本エコアグロ(株) 営業本部・大田チーム / TEL 03-3523-8280 )

[目次へ戻る](#)

**食の安全性について考える(34)****② 農薬の作用メカニズム (除草剤の作用)**

農薬を取り扱うにあたり、大きな3つの安全性が問われることになる。

第1は、農薬の取扱者すなわち農薬の製造、散布作業などに従事しているものが被害にあう場合。第2に、農薬が作物に残留し、それが摂取されて人体に影響を及ぼす場合。第3に、農薬が自然環境や生態系に及ぼす影響などについてである。特に、近年は環境運動の高まりとともに農薬への関心も一段と強まっている。それらのことを踏まえ、農薬の安全性について、わかりやすく解説した農薬工業会編「なるほど！なっとく！農薬Q&A」をしばらく掲載したい。(古津)



挿絵：加藤さん

**Q：除草剤はどのようにして雑草を枯らすのですか。**

**A：今日使われている除草剤には、植物の生長や体の維持に欠かせない光合成を阻害する薬剤、植物の成長ホルモンを攪乱する薬剤、光の存在下で活性酸素を生成させる薬剤、タンパク質を構成するアミノ酸の生合成を阻害する薬剤、脂肪酸の生合成を阻害したり細胞分裂を阻害したりする薬剤などがあります。**

雑草も作物も植物なので生理機能は基本的に同じです。したがって、除草剤の作用を雑草も作物も同様に受けると考えられます。雑草も作物も区別なく枯らす除草剤のことを非選択性除草剤といいます。一方、雑草と作物の間の微妙な選択性(感受性)の違いを利用して、雑草は枯らし、作物に対する影響は無視できる除草剤を選択性除草剤といいます。

**[光合成の阻害]**

植物は太陽の光エネルギーを使って、光合成することにより二酸化炭素と水を酸素とデンプンに変えています。雑草も、この光合成産物から自分の体をつくります。光合成を妨げると雑草の成長を阻害することができます。植物は自分の体内、たとえば根などに栄養を蓄えていますから、たとえ光合成を阻害されてもすぐには枯れず、光合成阻害型の除草剤の効き目はゆっくりと現れます。

**[植物ホルモン作用の攪乱]**

これまで6種類の植物ホルモンが知られていますが、そのうちオーキシンは、若い植物の伸長促進作用があり、挿し木の発根促進などに使われています。ジベレリンは植物の成長促進作用のほか種子や芽の休眠打破、ぶどうの種なし化などの作用があります。このように植物ホルモンは微量で生体の重要な働きを調節する作用を持っていますが、多すぎると反対に生理作用が攪乱され、植物の成長が乱れたり奇形を生じたりして、最後には枯れてしまいます。

**[光の助けを借りた活性酸素の生成]**

肌の老化やがん発生を加速する悪玉として活性酸素が知られています。活性酸素は普通の酸素が電子を受取ったり、色素が存在する条件下で光を受けたりして、強い酸化力を持った酸素に変わったものです。植物は一般的に緑色のクロロフィルを有しており体内には酸素があるので、光を受けると活性酸素が発生しやすい条件にあります。しかし、実際には発生する活性酸素を体内の酵素で絶えず消去しながら生きています。従って、普通以上に活性酸素が生じるような条件を

作り出す薬剤が使われると、その酸化力で雑草の細胞は破壊され枯れてしまいます。このタイプの除草剤は効果が速やかに現れる特徴があります。

#### 【栄養代謝阻害】

タンパク質は、生体及び酵素の構成要素であり、体内で重要な働きをしています。タンパク質はアミノ酸が繋がってできていますが、このアミノ酸の生合成が妨げられると雑草は枯れてしまいます。特に、ヒトが自分の体内に合成をする仕組みを持たず、植物のみが合成できる必須アミノ酸の生合成過程を阻害する薬剤は、ヒトへの影響が少ないため重要な存在です。アミノ酸と同様に植物は全ての脂肪酸を生合成しますが、動物は脂肪酸の多くを植物から摂取しています。脂肪酸の生合成を阻害することは、植物にとっては深刻なダメージになりますが動物にはほとんど影響がなく、安全性の高い除草剤として利用できることとなります。

#### 【細胞分裂阻害】

細胞分裂は、生物の成長や世代の交代にかかわるあらゆる場面で必要な現象です。除草剤で細胞分裂に作用する薬剤としては、細胞分裂の際に形成される紡錘糸の基となる微小管の形成を阻害するものと、微小管の機能を妨害し細胞分裂を阻害するものがあります。

#### ○茎葉処理剤と土壌処理剤○

除草剤には、すでに生長した雑草に散布して枯らすものや、まだ雑草が芽を出さないうちに土壌表面に散布して、雑草を生長させないものの二つに大きく分けられます。前者は「茎葉処理剤」、後者は「土壌処理剤」と呼ばれます。水田除草剤のなかには、水の中でこの二つの性質を発揮する「茎葉兼土壌処理剤」もあります。

なお、雑草や作物は植物であり動物とは性質が生物学的に大きく異なるので、除草剤は一般にヒトへの影響は小さいと言えます。さらに、植物固有の生理機能に働くアミノ酸生合成、光合成あるいは植物ホルモン作用を阻害する除草剤は、よりヒトへの影響の少ない除草剤といえます。

#### 参考文献

- \* 日本植物防疫協会『農薬概説』2008
- \* 松中昭一『農薬のおはなし』2000、日本規格協会
- \* 松中昭一『きらわれものの草の話—雑草と人間』1999、岩波書店  
(2009年9月)



挿絵：加藤さん

[目次へ戻る](#)



## 今月のお奨め農薬

### 果樹カメムシ類の防除に

# ダントツ水溶剤、アグロスリン水和剤、 アディオン乳剤、ロディー乳剤

果樹を加害するカメムシ類の種類は 30 数種が知られていますが、主な種類はチャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシの 3 種類です。

果樹カメムシ類による被害は吸汁被害で、かんきつ、りんご、なし、もも、すもも、うめ、かき、ぶどう、びわ、キウイフルーツ、くりなど多くの果樹で発生しています。被害の症状は果樹によって違いますが、主な症状は幼果期の吸汁による幼果の落果、変形果の発生、また 9 月以降の果実肥大期の吸汁による果肉のスポンジ化(品質の低下)、果実の変形および着色異常等による外観品質の低下です。



チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシはいずれの種類も成虫態で越冬します。越冬した成虫は 4 月頃から活動を開始して、くわ、さくら、きりなどの餌植物に飛来して果実や新芽を吸汁します。この時期に果樹園にも飛来してかんきつ、りんご、なし、かき等の幼果や収穫期のびわを加害します。6~7 月頃にはすぎ、ひのき林などの繁殖場所に移動し、成熟した球果を吸汁して産卵、増殖します。果樹カメムシ類が繁殖するためには種子の養分が必要で、すぎ、ひのきの球果の豊凶が果樹カメムシ類の発生量および果樹園への飛来量・時期に大きく影響します。卵から次世代成虫になるまでの期間は夏期で約 30~40 日です。

果樹カメムシ類の発生予察は越冬世代成虫(7 月まで)と第一世代成虫(8 月から)に分けて考えます。越冬世代成虫の発生量と被害量は越冬量調査で予測します。果樹園への飛来量と飛来時期は気温の長期予報、ライトトラップ、フェロモントラップの誘殺数で調べます。8 月以降の第一世代成虫の果樹園の飛来時期はひのきの球果量とひのき球果の口針鞘数で予測します。ひのき球果 1 果当たりの口針鞘数の平均が 25 本を越え餌植物が劣化すると繁殖場所から離脱し、果樹園に飛来して、果実や子実を加害します。

果樹カメムシ類の物理的防除法としては、①4mm 目の網で園全体を覆う、②忌避灯(黄色蛍光灯、ナトリウム灯)を用いる方法があります。

薬剤防除での果樹カメムシ類防除の難しさは、園外の繁殖場所で卵や幼虫の時期を過ごすため、有効な防除法は成虫防除しかありません。このため、果樹カメムシ類の防除薬剤には成虫に対する即効的な作用と果樹カメムシ類の飛来は長期にわたるため長い残効期間が必要です。そんな果樹カメムシ類の防除にお奨めの薬剤がダントツ水溶剤、アグロスリン水和剤、アディオン乳剤、ロディー乳剤です。

ダントツ水溶剤はネオニコチノイド系の薬剤です。吸汁性害虫を始めとして幅広い害虫に優れた浸透移行性と長い残効性があり、高い殺虫効果を発揮します。

アグロスリン水和剤、アディオン乳剤、ロディー乳剤は合成ピレスロイド系の薬剤です。幅広い害虫に即効的な殺虫効果と残効性を発揮します。また、特異な忌避作用による吸汁阻止効果があります。

これらの薬剤は天敵に対する影響があり、注意が必要です。特に合成ピレスロイド系薬剤はハダニ類やカイガラムシ類のリサージェンス※を起こす場合があるので注意してください。

※(殺虫剤の使用で天敵が減少した結果、害虫の突発的な多発を招く現象)

(鳥取)

[目次へ戻る](#)

## お役立ちプチ情報

### シリーズ「害虫の姿」(その2: 稲の害虫)

#### ・イネミズゾウムシ

ゾウムシ科：成虫(写真)の体長は約3mmで、体は茶褐色、背中に明瞭な黒斑がある。アメリカから日本に侵入し、1976年に愛知県の水田で初めて確認された。成虫は水田近くの雑草地や林地の下草で越冬し、稲が本田に植えられると共に飛来する。主に畦畔近くの稲を食害し、葉に縦に並んだカスリ状の食痕が見られる。稲に対する被害は根を加害する幼虫の方が大きい。



#### ・イネドロオウムシ

ハムシ科：イネクビホソハムシの幼虫。孵化直後の幼虫は淡黄色であるが、成長するとともに背面に糞を背負うようになるので、農業場面ではイネドロオウムシと呼ばれる。成虫の体長は約4~4.5mmで、全体に金属光沢のある青藍色で頭部は黒色、胸部は黄褐色である。幼虫、成虫ともに稲を食害し、葉脈に平行にカスリ状の食痕を残す。



#### ・トビイロウンカ

ウンカ科：長翅型と短翅型があり、写真の長翅型雌成虫は体長約4.8mmである。九州以北では越冬できず、毎年、中国南部以南から風に乗って日本に飛来する。日本に飛来後、水田の稲に産卵し、世代をかさねて増加する。9月~10月ごろに大発生する場合があります。大発生すると稲が土俵のようにまるく枯れたり(坪枯れ)、圃場全体が白穂になる場合もある。



#### ・ツマグロヨコバイ[雌成虫(左)、雄成虫(右)]

ヨコバイ科：雌成虫の体長は約5.5mmで全体が緑色である。雄成虫は体長は約4.5mmで全体が緑色であるが、翅の先が黒くなっている。稲の主要害虫で本田の初期から発生し、稲を直接吸汁し、葉が黄色くなる。被害が大きい場合は株ごと枯死する場合もある。また、萎縮病、わい化病などのウイルス病や黄萎病を媒介する。萎縮病の罹病株は生育が阻害され、最高分けつ期までに発病すると、収量が皆無となる場合もある。



(山脇)

[目次へ戻る](#)

**農薬登録情報**

4月10日、24日、5月15日の主な適用拡大の内容です

詳細はここをクリックしてください。

<http://www.i-nouryoku.com/prod/tekiyou/2013.html>**植物成長調整剤**

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
ジベラ錠 (2013/4/10) 負の適用拡大を含む	使用濃度追加 及び 作物統合	ぶどう(シャインマ スカットを除く2倍 体欧州系品種) 〔無核栽培〕	第1回目: 25ppm 第2回目: 25ppm	第1回目: 25ppm 第2回目: 25ppm 25ppm(1回散布) シャインマスカット をぶどう(2倍体欧州 系品種)〔無核栽培〕 に統合
	作物名	ぶどう(巨峰、ルビー ローマン)〔有核栽 培〕	ぶどう(巨峰、ルビー ローマン)〔有核栽培〕	ぶどう(巨峰、ルビー ローマン、ハニービーナ ス)〔有核栽培〕
	使用回数	さやいんげん(矮生 (促成又は半促成栽 培))	1回 (節間伸長促進)	2回以内 (節間伸長促進)
	総使用回数		2回以内(種子への処 理は1回以内、は種後 は1回以内)	3回以内(種子への処 理は1回以内、は種後 は2回以内)
	使用方法	温州みかん	立木全面散布又は枝 別散布(プロヒドロジ ヤスモン 2000倍液に 加用) (花芽抑制による樹 勢の維持)	立木全面散布又は枝 別散布(プロヒドロジ ヤスモン 1000~2000 倍液に加用) (花芽抑制による樹 勢の維持)
	使用方法 及び 使用濃度追加		散布 及び 25~50ppm (落果防止)	散布(プロヒドロジ ヤスモン 1000~2000 倍液に加用)、散布 及び 10、25~50ppm (落果防止)
	作物削除	きゅうり	きゅうり	適用削除
	使用時期	畑わさび	花芽分化後の10月下 旬(第1回目)及び第 1回目処理後約10日 後の11月上旬(第2回 目)、但し、収穫45日 前まで	花芽分化後の10月下 旬(第1回目)及び第 1回目処理後約10日 後の11月上旬(第2回 目)、但し、収穫60日 前まで
	散布処理での使 用薬量の設定	各作物での使用薬量は多岐にわたるので、個別に確認してください。		



**殺菌剤**

薬剤と変更日時	変更項目	適用作物	変更前	変更後
バリダシン液剤 5 (2013/4/24)	病害追加	ねぎ	軟腐病（散布） 苗立枯病（灌注）	軟腐病（散布） 苗立枯病（灌注） <b>白絹病（株元散布）</b>
	総使用回数		2回以内（は種時の灌注1回以内、散布は1回以内）	2回以内（は種時の灌注1回以内、散布 <b>及び株元散布</b> は合計1回以内）
	使用時期	いちご	収穫14日前まで	収穫 <b>開始</b> 14日前まで
	作物名	芝（ﾊﾞﾝﾄｸﾞﾗｽ） 芝（日本芝）	芝（ﾊﾞﾝﾄｸﾞﾗｽ） 芝（日本芝）	<b>西洋芝（ﾊﾞﾝﾄｸﾞﾗｽ）</b> <b>日本芝</b>
	散布処理での使用液量設定	かんきつ、もも、すもも いちご、えだまめ、キャベツ、しょうが、だいず、だいこん、たまねぎ、なす、にら、にんにく、はくさい、ねぎみつば、レタス、非結球レタス、ばれいしょ 稲（1000倍）	設定なし  設定なし	<b>200～700L/10a</b>  <b>100～300L/10a</b>  <b>60～150L/10a</b>
スターナ水和剤 (2013/5/15)	病害追加	にんじん	軟腐病	軟腐病 <b>斑点細菌病</b>

(山脇)

[目次へ戻る](#)**お知らせ**

月2回の病害虫発生速報メールの実施に伴い、「病害虫発生情報」のコーナーを終了します。  
 今後はより速報性を高めた内容のメールを別途お届けしますので、そちらをご覧ください。

速報メールは原則毎月5日、15日(メールマガジン)、25日に配信します。

[目次へ戻る](#)

## ひまわり農園奮闘記

4月の農作業は盛りだくさんでした。

スイートコーン、おかひじき、いんげんまめ、えだまめの種蒔き、トマト、ミニトマト、なす、きゅうり、ピーマン、とうがらし、さといもの植付け準備、そして、4月末に定植しました。

具体的には、4月6日スイートコーンなどの種蒔き、4月13日果菜類の植付け準備をしました。まず畝を起こして堆肥と化学肥料をよく土と混ぜて、その上に黒マルチをかけました。その日は午後から風が強くなるということで、午前中に全てを終わらせようと必死でした。すると案の定、翌日から腰が痛くなり、しばらくは筋肉痛で情けない状態になりました。

畝作りと定植の仕方ですが、最初に堆肥や化成肥料、苦土石灰を播いて鍬で鋤き込みます。そして、畝を作り、その畝にマルチを被せます。苗の種類によってマルチの上から箸で目印(写真-1)をつけます。そこに穴を開け、トマト「麗夏」、ミニトマト「薄皮ピンク」、きゅうり「夏すずみ」(写真-2)を定植します。トマトは第一果房に日がよく当たるように畝の外側に向けて、斜めに植えます。接木していないトマトの苗は斜めに植えると、根がたくさん出て生育が旺盛になります。そして、トマトの花が3輪咲いたら着果剤「トマトーン」を一吹き噴霧します。それ以上噴霧すると変形果が発生します。露地のミニトマトは果皮が厚く食感がよくありませんので、今年は薄皮の品種を植えました。

なす「千両2号」、長なす「筑陽」、ピーマン「京波」、とうがらし「甘とう美人」(写真-3)をもう一つの畝に定植しました。なすやきゅうりは接木苗のため接木部分が折れやすく注意が必要です。そして、接木部分より深く植えると台木の意味がなくなります。定植後はタツプリと灌水して、トマトの畝にユーラック、なすの畝には寒冷紗(写真-4)を掛けます。関東は風が強いので、飛ばされないようにしっかり土を被せます。

連休中に待望の収穫がありました。それは、ほうれんそうと、だいこん(間引き菜)です。春のほうれんそうは早く収穫すると美味しいですね。しかし、収穫が遅れると葉が硬くなり、とうがたちます。ほうれんそうはお浸しで、だいこんは浅漬けにして家族で美味しくいただきました。

**一口メモ**：ひまわり農園で新しい品種に切り替える際はベテランさんが前年に栽培して試しています。定年後のおじさんたちは研究熱心で感心します。 <次号に続く> (古津)



写真-1



写真-2



写真-3



写真-4

[目次へ戻る](#)

## ～ 編集後記 ～



農業体験農園「ひまわり農園」で野菜を作っています。

まだ、何も分からないので、園主さんや先輩たちにご指導を受けて作っているというほうが正しいです。作り始めて分かったのですが、わずか30㎡の区画なのに、他の区画と生育状態が異なります。順調に育っている区画もあれば、少し元気がない区画、種を蒔いているのに歯抜けになっている区画と、様々です。トマトやきゅうりの支柱の組み方一つにしても個性が出ています。初心者には習った通りに支柱を立てますが、ベテランさんは色々な形に組んでいます。今までの経験から各人工夫をして、最適な方法を見つけているのでしょう。

すでに収穫を終えたほうれんそうが、いい例です。全員で同じように耕して、肥料をやり、種を蒔きましたが、生育が区画ごとに違います。私の区画は伸びが悪いのですが、隣の区画は勢いよく育っています。なぜ違いが出たのか分かりません。慌てて、追肥をしたのですが生育のいい



ひまわり農園全景

ほうれんそうに追い付くことはありませんでした。5月の連休後半になると下葉が黄色くなり、急いで収穫しましたが、最初に収穫したものと比べ、明らかに味や食感が劣り美味しくなくなっていました。園主さんに原因を尋ねてみると、追肥の量と時期が重要で、時期を外すと十分な効果が得られないと説明を受けました。

私は、ほかの人と競う気はさらさらありませんが、立派に育っている人の区画をみると、どうも気になり

ます。そのために、来年はもっといいものを作れるように頑張ろうと思うようになりました。

これからは人目に付きやすいトマト、きゅうりなどが採れるようになります。そうになると、他の区画のトマトやきゅうりが益々気になってくると思います。出来るだけ他の区画よりも、いいものをたくさん採ろうと、闘志を燃やしそうです。因みに、6月1日はひまわり農園で収穫祭があります。その日に採れた野菜を食べながらビールを飲み、野菜づくりのコツなどを教えてもらおうと、今から楽しみにしています。

(古津)

農家さん訪問記取材のため、みかんの大産地である四国南西部の愛媛県八幡浜市に行ってきました。

ちょうどシーズンオフで、果実も花も見られなかったのが残念ですが、かんきつは常緑樹なので、山の斜面の緑と入り江の海の青さのコントラストがすばしかったです。

「みかんの花咲く丘」の童謡を彷彿とさせる眺めでした。みかん畑で歌詞を口ずさみました。私の嗜好ですが、この童謡と「里の秋」、「ちいさい秋みつけた」「早春賦」が好きです。

当日の取材の約束が朝9時だったので、前日のうちに松山に入りました。その夜食べたカワハギの薄作りと肝が大変美味で、河豚の薄作りに見た目や歯ごたえがそっくりで、味は河豚よりもうま味があり、肝も絶品でした。

(鈴木)



カワハギの薄作り

次月号の - 農力だよりは  
6月28日(金)の発行予定です。  
どうぞお楽しみに！！

[目次へ戻る](#)